

Discussion Materials

中国鉄鋼業界 ～過剰設備解消・企業再編・原材料調達の動向～

LEAD THE VALUE



2017年7月
三井住友銀行(中国)有限公司
企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時点で弊行が一般に信頼できるとされる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。

エグゼクティブサマリー

- 中国の鋼材需要は、短期的には、不動産建設や自動車生産の伸びの鈍化を受け、やや減少するとみられます。生産は、過剰設備問題の解消に向けた政府によるコントロールの下、やや減少する見通しです。中長期的には、中国が抱える世界最大の自動車市場の拡大等が牽引役となり、需要・生産ともに均衡を保ちながら緩やかに増加していくものとみられます。
- こうした中、中国政府は、2016年に入りサプライサイド改革として過剰設備の解消、企業再編による「超大型企業」の設立等の目標を掲げています。過剰設備解消に関する追加策を矢継早に公表し、設備削減の年間目標を過達。大手同士の統合も実現しており、政府による改革が従来以上の想定以上に進む可能性が高まっています。
- また、中国の鉄鋼メーカーは鋼材の品質向上等を狙いとして原材料品質を見直しつつあります。優良鉱山を確保するとの政府方針を受けた、中国企業による権益取得に向けた動きも徐々に顕在化しています。
- 今後、改革が進んだ場合に誕生する「超大型企業」は、他国の大手鉄鋼メーカーを凌駕する生産規模と価格競争力を獲得することとなるほか、技術力を高めるための動きや、高品質な原材料の調達を加速させることが予想されるだけに、日・米・欧の大手鉄鋼メーカーの戦略に影響を及ぼす可能性もあるとみられます。

目次

1. 需給環境	3
2. 政策動向	9
3. 予想される影響と対応策	12
付属資料	13

1. 需給環境 (1)需要 ①需要内訳及び2016年の鋼材需要

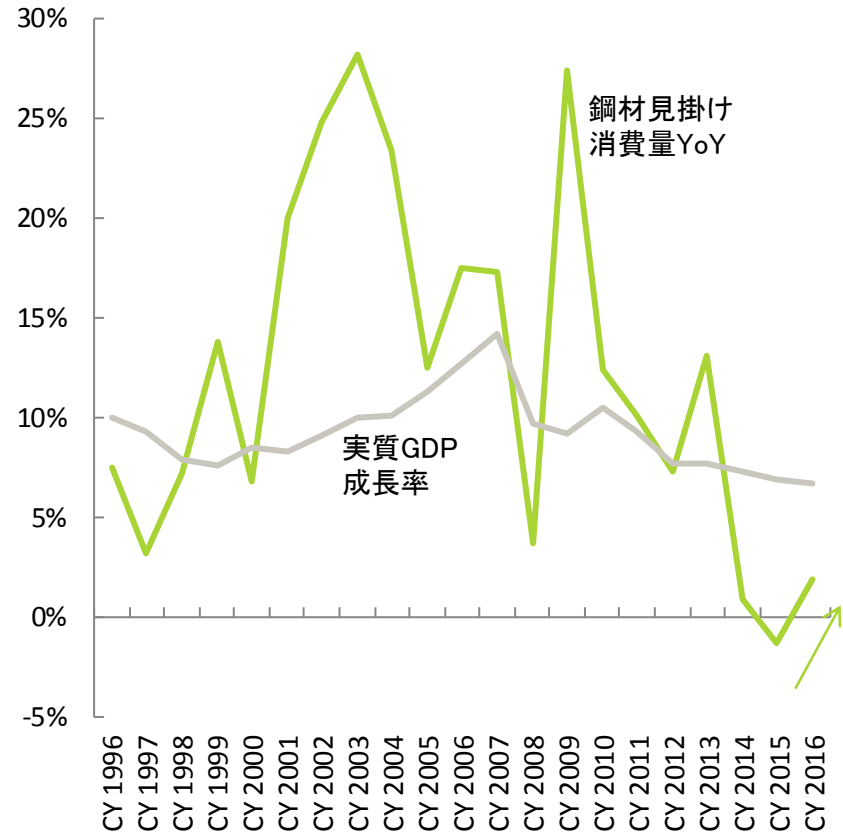
中国の鋼材需要は、インフラ・不動産等の建設向けが過半を占めています。また品質別で見れば、低品質な鋼材が建設向けで消費される一方、高品質な鋼材は主に自動車で消費されます。2016年は不動産建設や自動車生産が鋼材需要の回復をけん引しました。

需要セクター別消費量(2016年)

	消費量 (万トン)	構成比
全体	67,005	-
建設	36,012	54%
機械	12,844	19%
自動車	5,815	9%
エネルギー	3,109	5%
造船	1,200	2%
家電	1,080	2%
鉄道	522	1%
その他	6,422	10%

(出所)中国冶金工業計画研究院データを基に弊社作成

鋼材見掛け消費量の伸び率

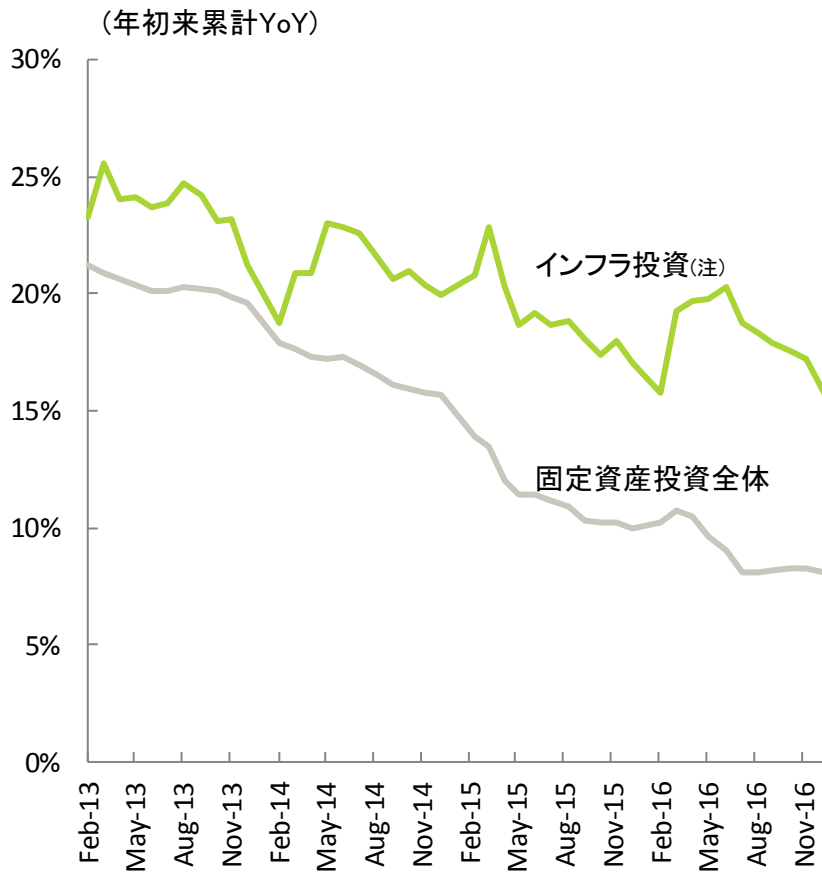


(注)見掛け消費量=国内生産量+輸入量-輸出量
(出所)Windデータを基に弊社作成

1. 需給環境 (1)需要 ②インフラ建設向け(現状、短期見通し)

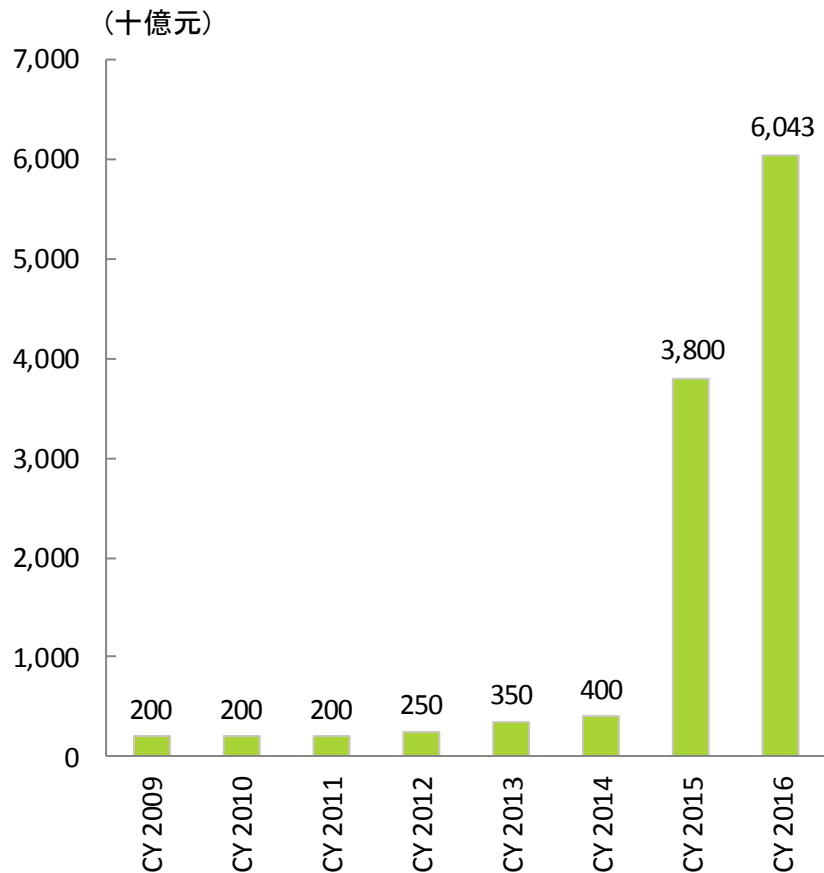
インフラ投資は、地方政府の財政問題等が実行する上でのネックとなっています。2016年のインフラ投資は、地方政府債の発行による資金調達が進んだこと等から、高い伸びを維持しました。今後も、企業部門の資金を活用するPPPプロジェクトの推進を政府が加速させていること等から、インフラ投資は堅調に推移する見通しです。

インフラ投資の伸び率



(注)交通/物流、環境/公共設備、電力/ガス/水供給の合計
(出所)Windデータを基に弊行作成

地方政府債発行額

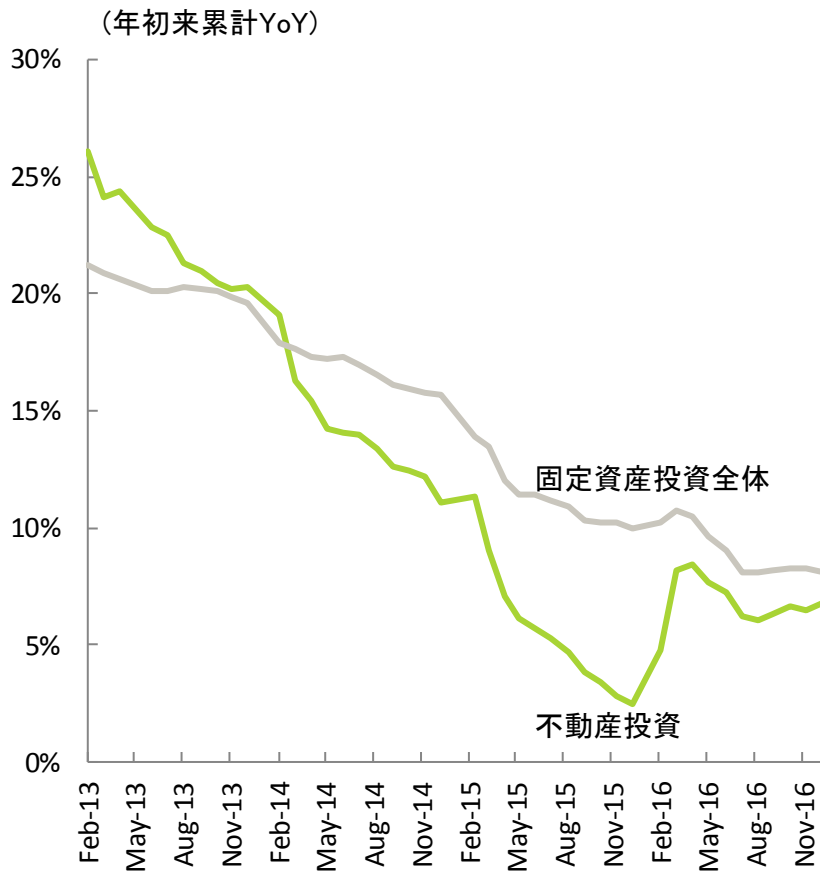


(出所)Windデータを基に弊行作成

1. 需給環境 (1)需要 ③不動産建設向け(現状、短期見通し)

不動産建設は、2014年後半以降の各種規制緩和策の効果から、需要の強い1・2級都市が牽引し復調しました。もっとも、市況の過熱が見られた複数の都市で住宅関連規制が強化されているほか、3級以下の都市で依然として在庫が高止まりしていることから、伸びが鈍化するとみられます。

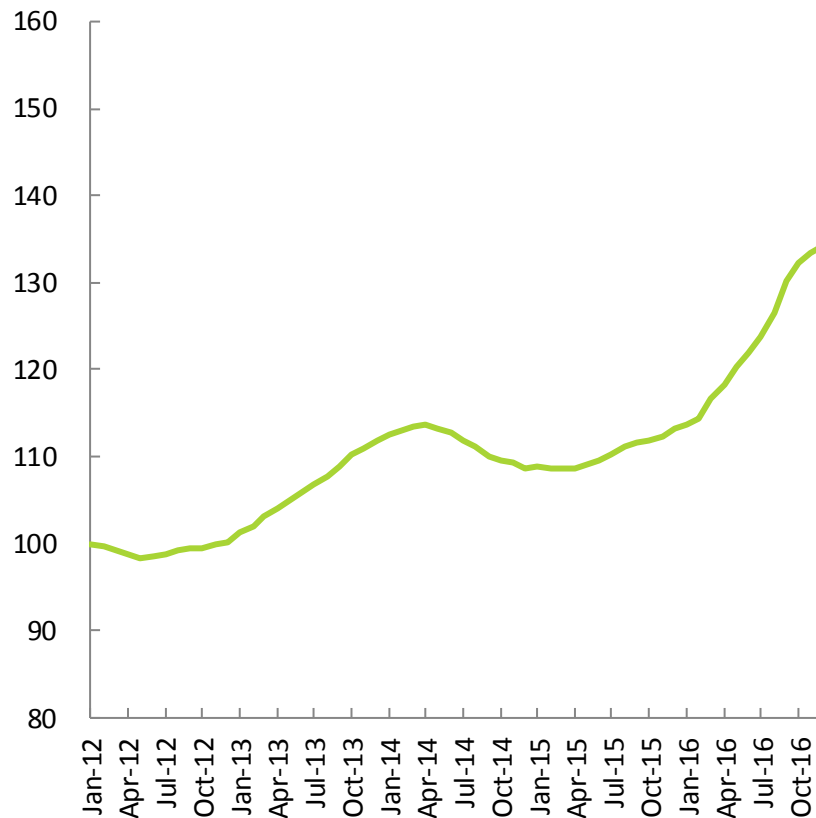
不動産投資の伸び率



(出所)Windデータを基に弊社作成

住宅市況

CREIS100都市平均販売単価 (2012年1月=100)



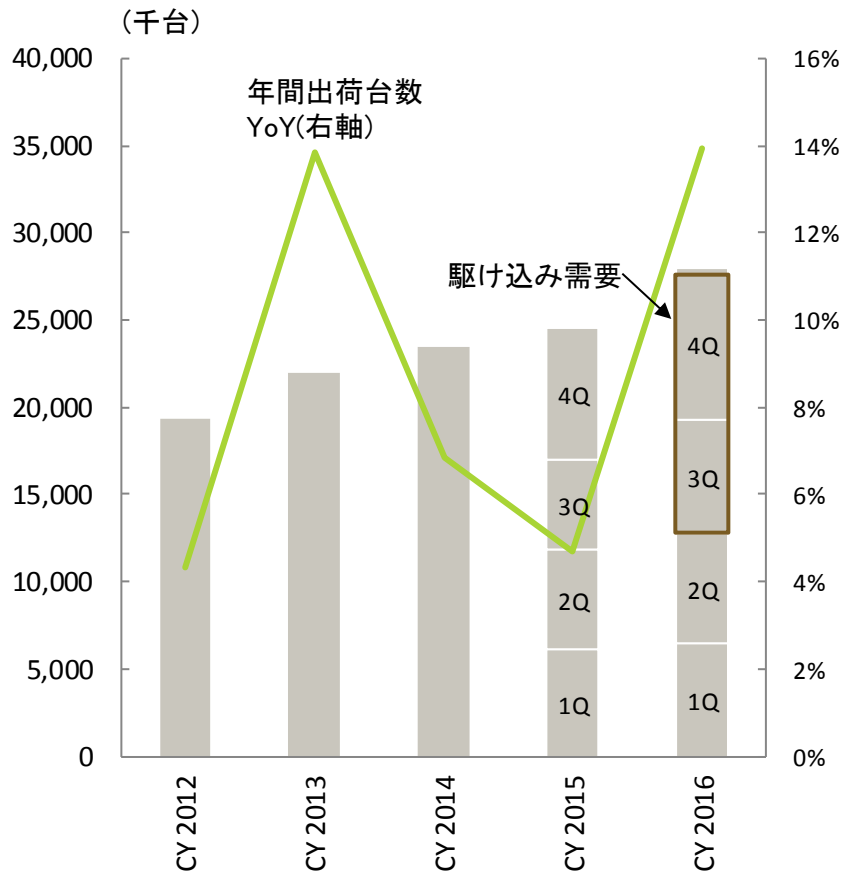
(出所)CREISデータを基に弊社作成

1. 需給環境 (1)需要 ④自動車向け(現状、短期見通し)

2016年の自動車業界は、2015/10月からの小型車購入税減税(注)の効果に加え、同減税政策終了が予定された年末にかけては駆け込み需要も発生しました。2017年は、購入税の減税幅縮小を受け生産の増加ペースが鈍化する見通しです。

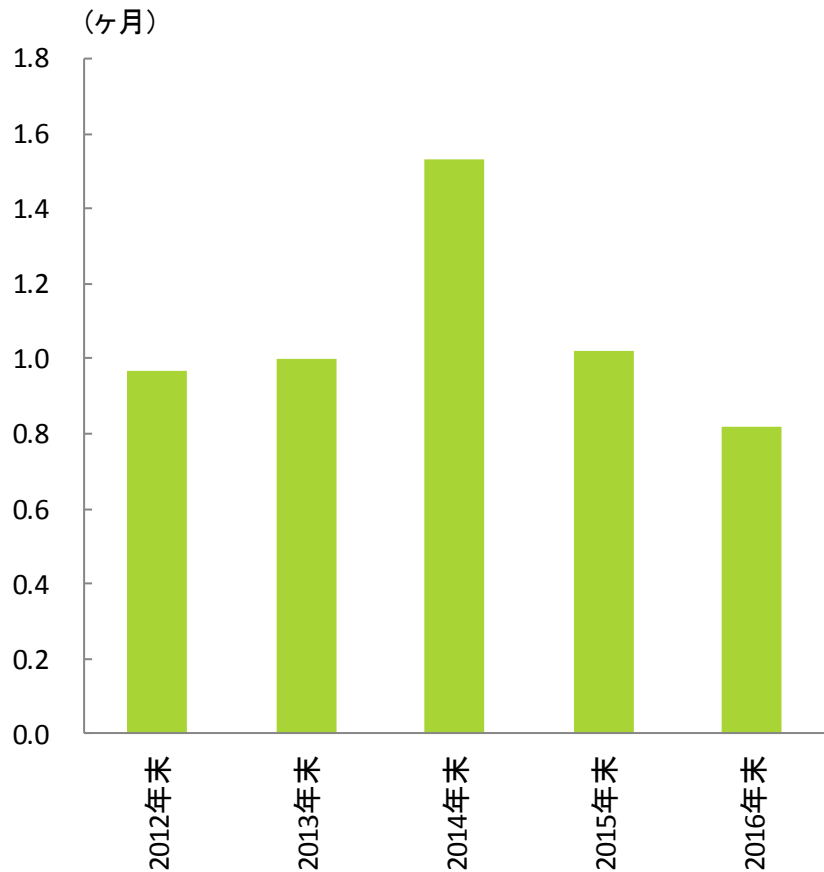
(注)2016年末を期限に、排気量1,600cc以下の車両の購入税を車両価格の10%から5%に引き下げ。2017/1月から自動車購入税の減税幅を5.0%から2.5%へと縮小しており、2017年末に減税終了予定。

出荷台数



(出所)Windデータを基に弊行作成

乗用車在庫

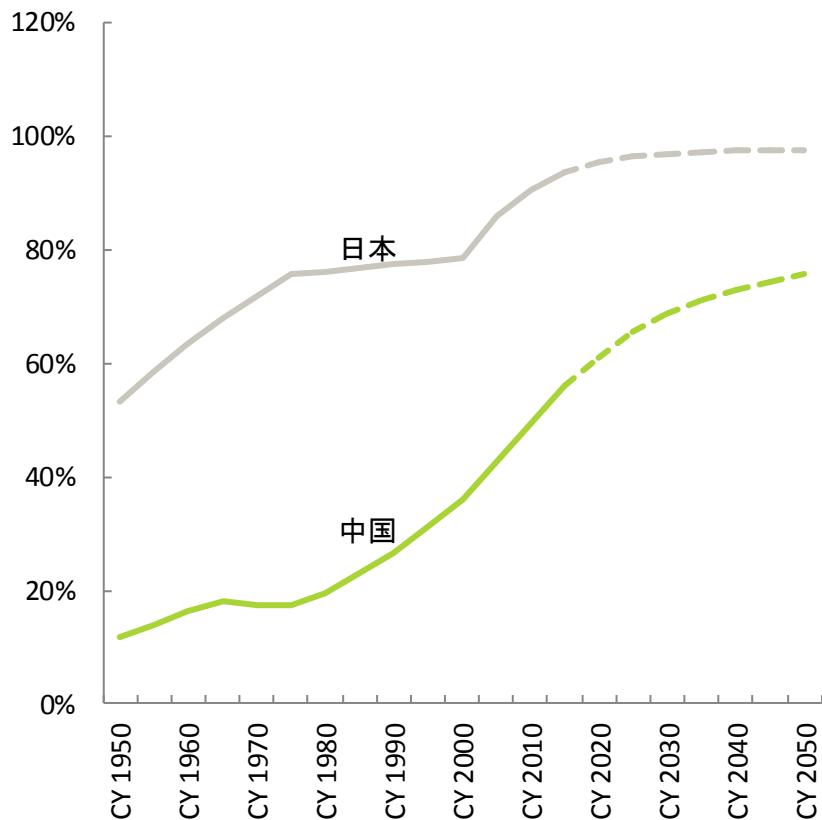


(注)在庫水準は年末在庫台数÷12月販売台数
(出所)Windデータを基に弊行作成

1. 需給環境 (1)需要 ⑤中長期見通し

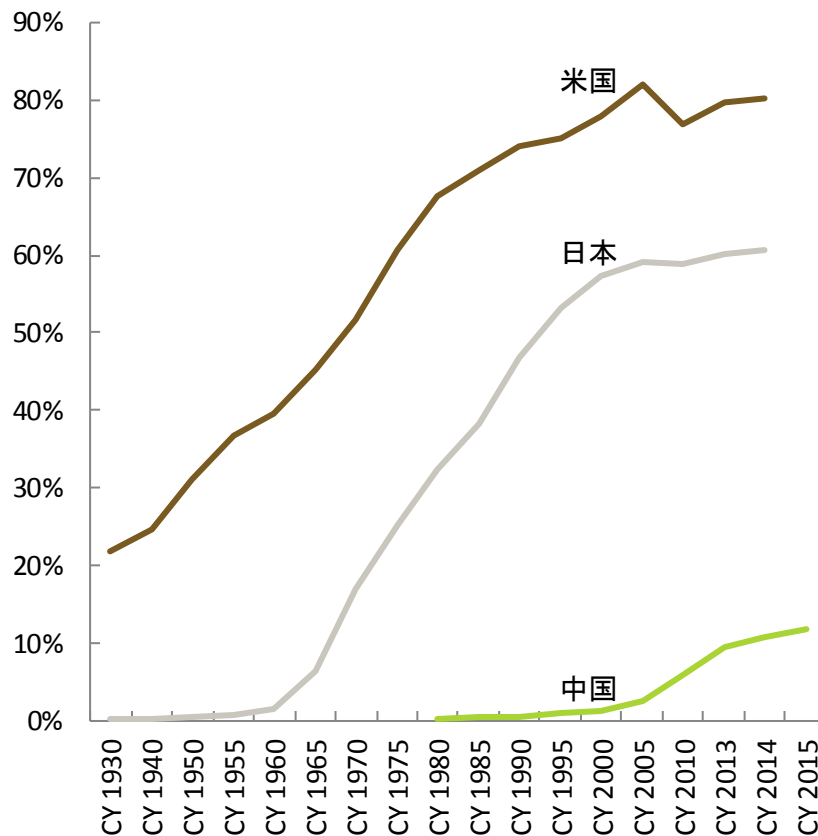
短期的には、不動産建設や自動車生産が弱含むため、鋼材需要はやや減速する見通しです。一方、中長期的には、都市化の更なる進展に加えて、世界最大の中国自動車市場の拡大が見込まれることもあり、需要は緩やかな増加基調を辿るとみられます。

都市化率



(出所)Wind、国連データを基に弊社作成

自動車保有率

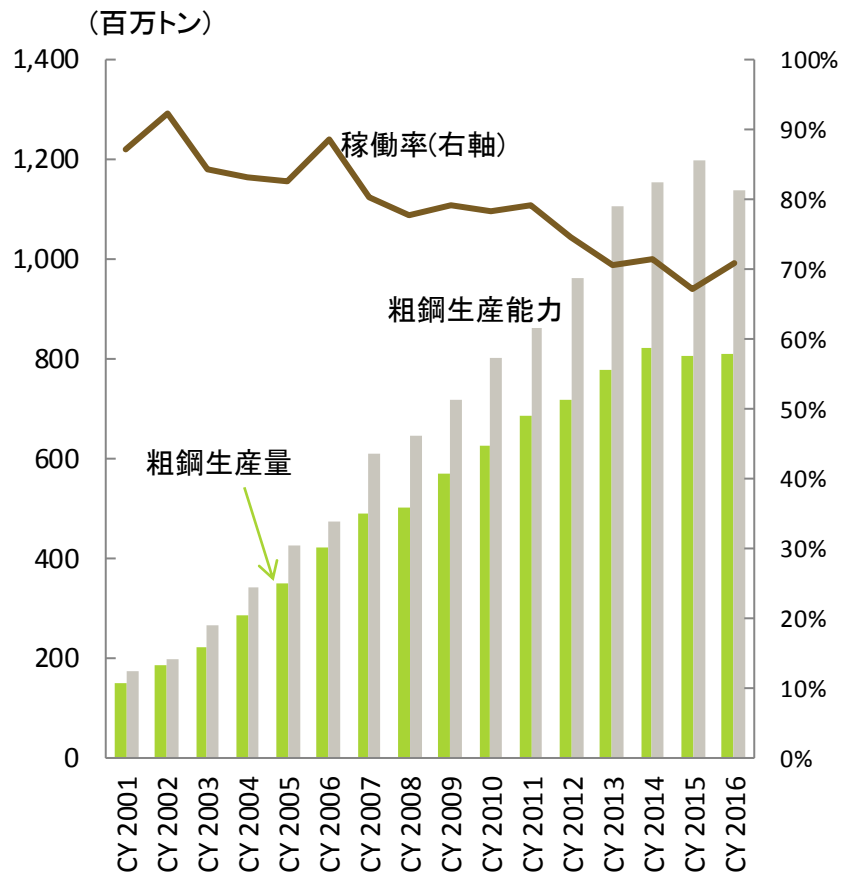


(出所)日本自動車工業会「日本の自動車工業」、Windデータを基に弊社作成

1. 需給環境 (2)供給

2016年に入り、過剰設備問題の解消に向けた取り組み(詳細p.9)の中で、環境規制や品質基準の運用を厳格化していることもあり、同年の粗鋼生産量の伸びは前年比+1.2%と微増に止まりました(鋼材見掛け消費量の伸びは前年比+3.0%)。このため、生産量が需要を下回り、需給バランスは改善しました。今後も生産は需給バランスを保つべく、需要動向につれてコントロールされるとみられます。

粗鋼生産量・生産能力・稼働率



(出所)Wind、鋼鉄工業年鑑、及び政府公表データを基に弊社作成

主要環境関連規制

- ・ 当局は環境関連規制を相次ぎ公表しています。

	公表日	公表機関
『大気汚染物特別排出制限の実行』	2013/2/27	中国環境保護部
『大気汚染防止行動計画』	2013/9/12	中国国務院
『環境保護法(改正版)』	2014/4/24	第12期全人代第8回常務委員会
『水汚染防止行動計画』	2015/4/2	中国国務院
『大気汚染防止法』	2015/8/29	第12期全人代第16回常務委員会
『環境保護の役割の積極的な発揮によるサプライサイド改革の促進に関する指導意見』	2016/2/4	中国環境保護部
新『中華人民共和国エネルギー節約法』	2016/10/8	中国環境保護部
『“十三五”生態環境保護計画』	2016/12/5	中国国務院

2. 政策動向 (1)過剰設備解消

中国政府は2016年に入りサプライサイド改革として過剰設備の解消の目標を掲げています。失業保障や地方政府に対する監督強化等、過剰設備解消に関する追加策を矢継早に公表し、設備削減の年間目標を過達したうえ、2017年も約0.5億トンの設備削減目標を公表するなど、過剰設備問題の解消は想定以上に進む可能性が高まっています。

過剰設備解消に関する主要政策

2016/2月	国務院「鉄鋼業界の過剰生産能力解消と脱苦境並びに発展の実現に関する意見」 <抜粋> <ul style="list-style-type: none">2016年から5年以内に粗鋼生産能力を1～1.5億トン削減各地方政府による新規鉄鋼プロジェクトの建設禁止環境汚染、製品品質等の状況によっては生産停止・閉鎖各地方政府は、所管企業の具体的な削減実施案を中央政府に報告
2016/4月	人民銀行・銀监会・証监会・保监会「鉄鋼・石炭業界の過剰生産能力解消と脱苦境並びに発展の実現の支持に関する意見」 <抜粋> <ul style="list-style-type: none">鉄鋼・石炭の新規生産能力への貸出を厳格に抑制返済能力や市場競争力に乏しい企業等向けの貸出を圧縮・停止
2016/5月	財政部「工業企業構造調整専用奨励補助資金管理弁法」 <抜粋> <ul style="list-style-type: none">各地方政府と中央企業向けに、1千億元規模の資金を供給削減時期の早さと目標過達に対してインセンティブを付与
2016/8月	国務院常務会議 <ul style="list-style-type: none">鉄鋼業界における能力淘汰の進捗状況を監査するよう指示、通年目標の達成を要求
(2016/10月)	(2016年における粗鋼生産能力の削減目標<約0.5億トン>を前倒しで達成)
2016/11月	工業情報化部「鋼鉄工業調整昇級計画(2016-2020年)」 <抜粋> <ul style="list-style-type: none">2020年における設備稼働率を80%以上に改善
2017/3月	国務院「政府活動報告」 <抜粋> <ul style="list-style-type: none">2017年に粗鋼生産能力を約0.5億トン削減

2. 政策動向 (2)企業再編

過剰設備の解消と同じくサプライサイド改革として、中国政府は企業再編による超大型企業の設立の目標を掲げています。上位10社合算の国内市場シェアを約1.75倍の60%まで引き上げるとする政策も打ち出され、実際に中央政府直轄の大手である宝鋼集団と武漢鋼鉄(集団)の統合が実現しています。

企業再編に向けた政策

工業情報化部「鋼鉄工業調整昇級計画(2016-2020年)」<抜粋>

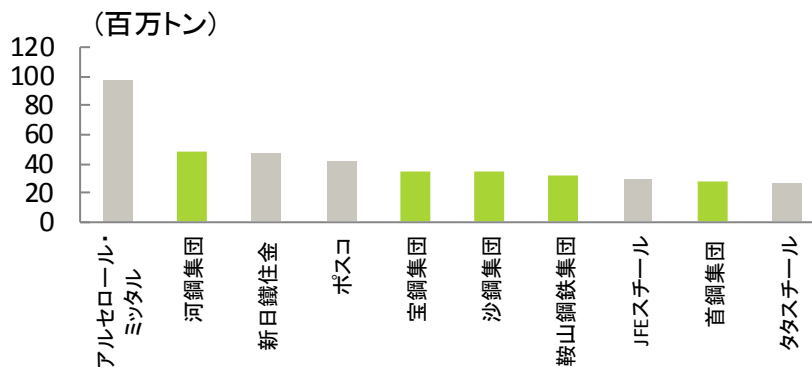
- 2016/11月に公表
- 2020年における上位10社合算の市場シェアを**60%に改善**

(参考)中国国内市場シェア(2015年)

順位	企業名	資本属性	市場シェア
1	河鋼集団	地方政府系国有	5.9%
2	宝鋼集団	中央政府系国有	4.3%
3	沙鋼集団	民営	4.3%
4	鞍山鋼鉄集団	中央政府系国有	3.9%
5	首鋼集団	地方政府系国有	3.6%
6	武漢鋼鉄(集団)	中央政府系国有	3.2%
7	山東鋼鉄集団	地方政府系国有	2.7%
8	馬鋼集団	地方政府系国有	2.3%
9	渤海鋼鉄集団	地方政府系国有	2.0%
10	建龍重工集団	民営	1.9%
2015年市場シェア10社合計			34.2%(→60%へ)

(出所) Windデータを基に弊社作成

粗鋼生産量の世界ランキング(2015年)



(出所) Windデータを基に弊社作成

(参考)中国企業の中国国内シェア分布(2015年)

	国有	民営	国有・民営計
宝鋼+武漢	7.6%(2社)	-	7.6%(2社)
その他10位迄	20.5%(6社)	6.1%(2社)	26.6%(8社)
11~20位	7.9%(5社)	7.8%(5社)	15.6%(10社)
21~30位	6.4%(6社)	4.4%(4社)	10.8%(10社)
上位30社 <粗鋼生産量>	42.3%(19社) <340百万トン>	18.3%(11社) <147百万トン>	60.6%(30社) <487百万トン>

(出所) Windデータを基に弊社作成

2. 政策動向 (3)原材料調達

国内自動車市場の拡大を受け中国の鉄鋼メーカーは鋼材の品質向上等を狙い原材料(鉄鉱石、原料炭等)品質を見直しつつあり、世界最大の自動車市場(生産台数2,800万台超)が更に拡大していく中で、今後も高品質な原材料の調達量は増加傾向を辿る見通しです。こうした中、中国では高品質な原材料は採掘できず、海外からの調達量が増加しているうえ、優良鉱山を確保するとの政府方針を受け、産出国では中国企業による権益取得に向けた動きもみられます。

鋼鉄工業調整昇級計画(2016~2020年)

(「鉄鋼資源保障能力の増強」項目抜粋)
鉄鉱石供給保障における新たな構図を構築

- ・ 国内外における資源を利用

需給を反映する市場価格メカニズムを形成

海外に鉱山資源の生産拠点を確保

- ・ 企業及び企業連合が、独資・合弁出資等多様な方式により、良質な鉱山資源を低コストに生産できる拠点を海外に建設、もしくは斯かる海外拠点を取得することをサポート

国内鉱山資源の探査推進、保有量把握

国内鉄鉱資源会社の供給能力増強

競争力のない国内鉄鉱資源会社の淘汰

中国企業による権益取得の動き

公表時期	企業名	相手国	品目	出資対象企業
2016/4月	洛陽モリブデン	コンゴ	銅コバルト	(米)Freeport-McMoRan
2016/5月	洛陽モリブデン	ブラジル	ニオブリン酸塩	(英)Anglo American
2016/11月	西南能鉱地鉄	キルギス	金	(豪州)Manas Resources
2016/11月	山東鋼鉄	シエラレオネ	鉄	(アフリカ)アフリカ鉄業
2017/1月	ヤン州煤業	豪州	石炭	(豪州)Coal & Allied Industries
2017/2月	山東天業恒基	豪州	金	(中)Hanking Australia

(出所)中国工業情報化部公表内容を基に弊行作成

(出所)各社プレスリリースを基に弊行作成

3. 予想される影響と対応策

改革が進んだ場合に誕生する超大型企業は、他国の大手鉄鋼メーカーを凌駕する生産規模と価格競争力を獲得し、技術力を高めるための動きや、高品質な原材料の調達を加速させることが予想されます。

中国メーカーが改革によって強化・改善される分野と予想される影響

政策	政策内容	強化・改善される分野	予想される影響	外資系大手メーカーの対応策
過剰設備 解消	<ul style="list-style-type: none"> 生産能力を1.5億トン削減 設備稼働率を80%に改善 	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材価格 - 販売競争がやや沈静化 	(中国企業の) <ul style="list-style-type: none"> 投資余力増強 	-
企業再編	<ul style="list-style-type: none"> 上位10社合算の国内市場シェアを60%に引き上げ 統合により労務費、物流費、管理費等を削減 原材料調達に係る取引条件を改善 	<ul style="list-style-type: none"> 財務体力 - レバレッジ低下を目指す政府方針下、株式交換等による統合実施の見込み 価格競争力 - (1社当り)生産規模の増加、間接部門の統合等による、生産量当り製造原価(固定費)減少 - 財務体力改善に伴う財務費用(輸入L/C発行費用等)減少 	(中国企業の) <ul style="list-style-type: none"> 国際競争力増強 新興国等への展開加速 技術力向上 - 投資余力の増強に伴う、研究開発や海外メーカーの買収加速 	<ul style="list-style-type: none"> 中国企業との連携の追加検討(下工程など) 新興国等における販売先の開拓や現地鉄鋼メーカーとの連携 規模拡大(M&Aなど)
高品質な 原材料の 確保	<ul style="list-style-type: none"> 権益取得等により、高品質な原材料の海外調達を増加 	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質 - 高品質な原材料の安定調達体制を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 高品質な原材料の調達競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> 権益取得も含めた原材料の調達ルート強化 資金調達体制の強化

付属資料 (1)鋼材需給

鋼材需給

2015年

需要	数量 (万トン)	YoY	供給	数量 (万トン)	YoY
見掛け 消費量(注1)	102,388	-1.3%	生産(注2) (粗鋼生産)	112,350 (80,383)	+0.6% (-2.3%)
輸出	11,240	+19.9%	輸入	1,278	-11.4%

メーカー在庫	1,242	-6.2%
流通在庫	862	-10.5%

2016年

需要	数量 (万トン)	YoY	供給	数量 (万トン)	YoY
見掛け 消費量(注1)	104,273	+3.0%	生産(注2) (粗鋼生産)	113,801 (80,837)	+2.3% (+1.2%)
輸出	10,849	-3.5%	輸入	1,321	+3.4%

メーカー在庫	1,231	-0.9%
流通在庫	947	+9.8%

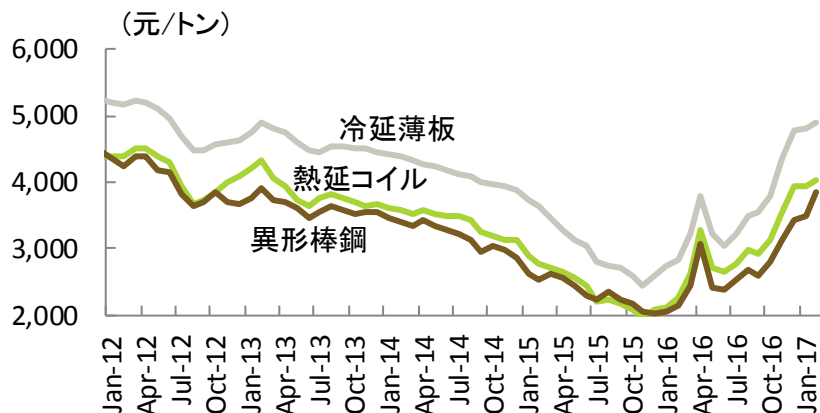
(注1)見掛け消費量=国内生産量+輸入量-輸出货量。

(注2)生産及び粗鋼生産の値は、過去分の修正値が公表されない為、公表時点の値を記載した。

(出所)Windデータを基に弊行作成

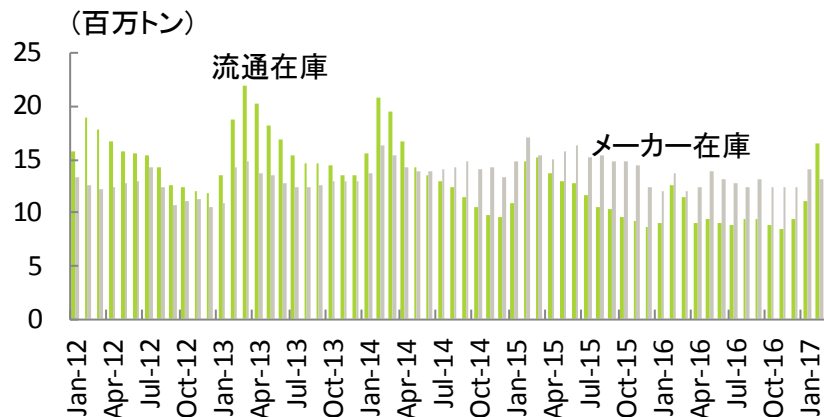
付属資料 (2)鋼材価格・在庫・輸出入

鋼材価格



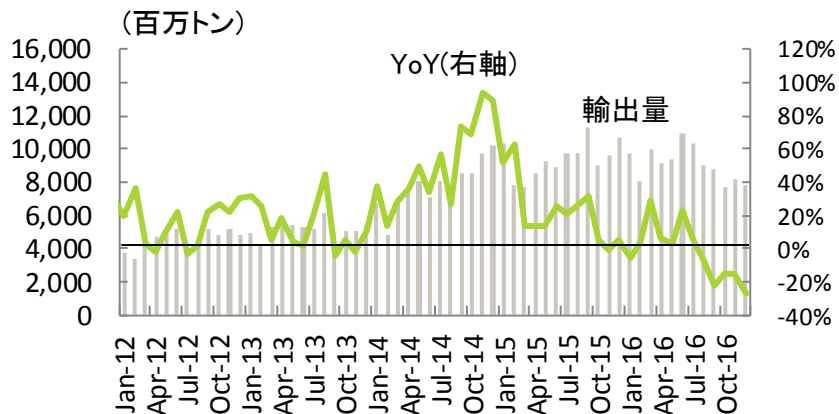
(出所)中国鉄鋼工業協会データを基に弊行作成

鋼材の流通・メーカー在庫



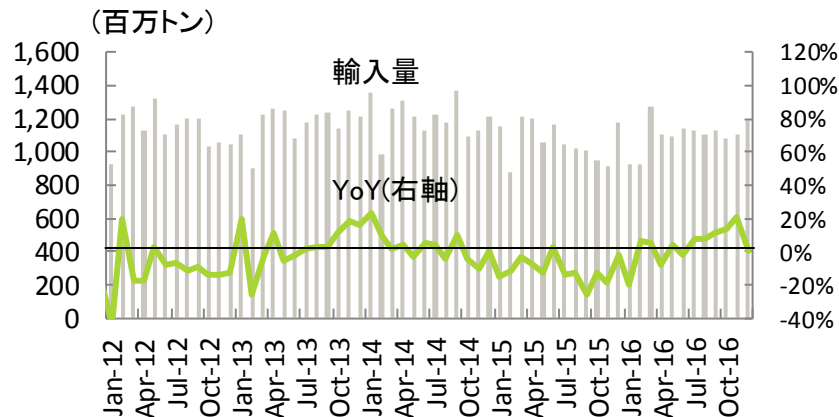
(出所)Windデータを基に弊行作成

鋼材輸出量



(出所)Windデータを基に弊行作成

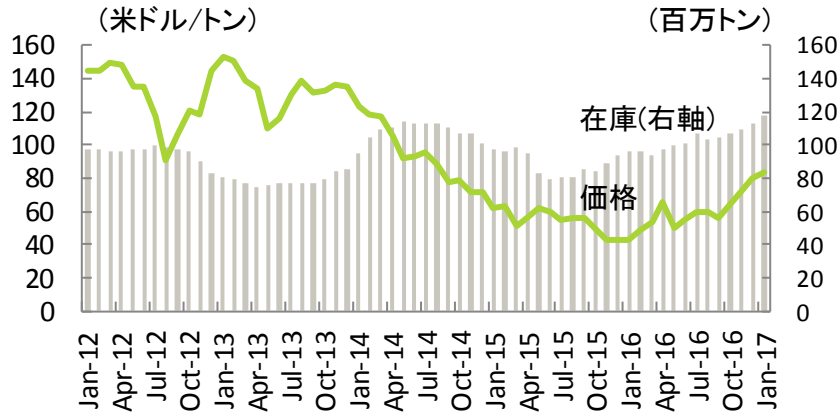
鋼材輸入量



(出所)Windデータを基に弊行作成

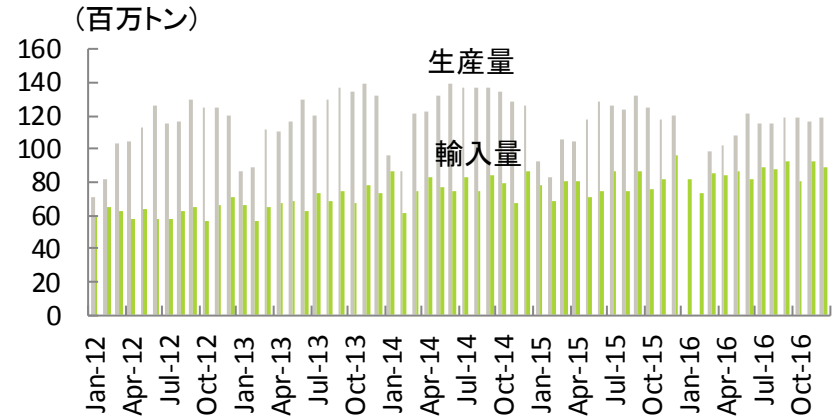
付属資料 (3)原材料価格・在庫・調達

鉄鉱石価格・港湾在庫



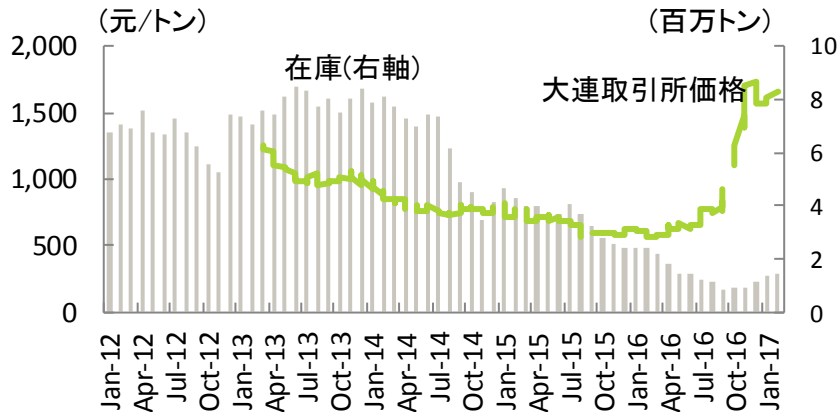
(出所)Windデータを基に弊行作成

鉄鉱石の国内生産・輸入量



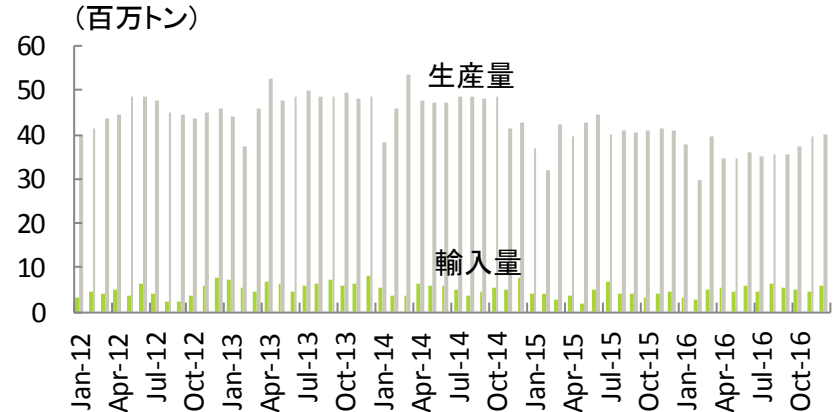
(注)鉄鉱石生産量の2016年1月・2月の単月データは公表されず
(出所)Windデータを基に弊行作成

原料炭の価格・港湾在庫



(注)在庫のデータは主要港湾である京唐港、日照港、連雲港、天津港のみ、また、一部の在庫データは取得不能。
(出所)Windデータを基に弊行作成

原料炭の国内生産・輸入量



(出所)Windデータを基に弊行作成

照会先

三井住友銀行(中国)有限公司 企業調査部

関 龍一

TEL: (86)(21)3860-9911

E-mail: ryuichi_seki@cn.smbc.co.jp

陸 蓓倩

TEL: (86)(21)3860-9918

E-mail: beiqian_lu@cn.smbc.co.jp

企業調査部 体制

		姓名	担当業務
部長		土屋 尚史	総括、企画、マクロ経済
1係	係長	関 龍一	エレクトロニクス、鉄・非鉄、紙・パルプ、 マクロ経済(関)
		陸 蓓倩 (Lu Beiqian)	
2係	係長	鄧 曉丹 (Deng Xiaodan)	機械、造船、運輸、窯業、 マクロ経済(鄧)
		于 貞 (Yu Zhen)	
		孔 辰侃 (Kong Chenkan)	
3係	係長	木村 拓雄	自動車、石油化学、エネルギー
		房 磊 (Fang Lei)	
		崔 宜珊 (Cui Yishan)	
4係	係長	柳 笛 (Liu Di)	小売・流通、繊維アパレル、食品・外食、雑貨
		周 健怡 (Zhou Jianyi)	
5係	係長	于 甦鳴 (Yu Suming)	建設・不動産、金融、メディカル・ヘルスケア
		徐 初照 (Xu Chuzhao)	
-		王 言中 (Wang Yanzhong)	リサーチアシスタント、翻訳